

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和5年11月9日（木）

2 確認箇所

- (1) 1号機原子炉建屋周辺
- (2) 2号機原子炉建屋南側ヤード
- (3) 3号機原子炉建屋南側ヤード

3 確認項目

- (1) 1号機原子炉建屋大型カバー設置工事の状況
- (2) 2号機燃料取り出しに向けた工事の状況
- (3) サブドレンピットNo.40における油分検出の対応状況

4 確認結果の概要

(1) 1号機原子炉建屋大型カバー設置工事の状況

1号機原子炉建屋から使用済燃料の取り出しを行うにあたり、1号機原子炉建屋を覆う大型カバーを先行設置し、大型カバー内のガレキ撤去用天井クレーンや解体重機を用いて、ガレキ撤去を実施する。その後、オペレーティングフロアの除染・遮蔽を実施し、燃料取扱設備（燃料取扱機、クレーン）を設置した上で、使用済燃料プールから燃料取り出しを実施している。現在、1号機原子炉建屋大型カバー設置工事が実施されていることから、工事の進捗状況を確認した。（前回確認日：令和5年7月19日）（図1）

- ・1号機原子炉建屋の北面及び西面では、仮設構台の設置が終了しており、その上に下部架構が組み立てられていた。（写真1-1、1-2）
- ・1号機原子炉建屋の北側ヤードには、構外ヤードで地組された下部架構が仮置きされていた。（写真1-3）

(2) 2号機燃料取り出しに向けた工事の状況

2号機の燃料取り出しについては、燃料取り出し用構台設置後に原子炉建屋オペレーティングフロア南側に開口部を設け、燃料取扱設備を設置する計画であり、現在、建屋内ではオペレーティングフロアの除染が令和5年10月4日に完了し遮へい設置の準備が行われており、建屋外では燃料取り出し用構台の設置が7月13日に完了し、前室鉄骨ユニットの設置作業が実施されていることから、工事の進捗状況を確認した。（前回確認日：令和5年7月28日）（図1）

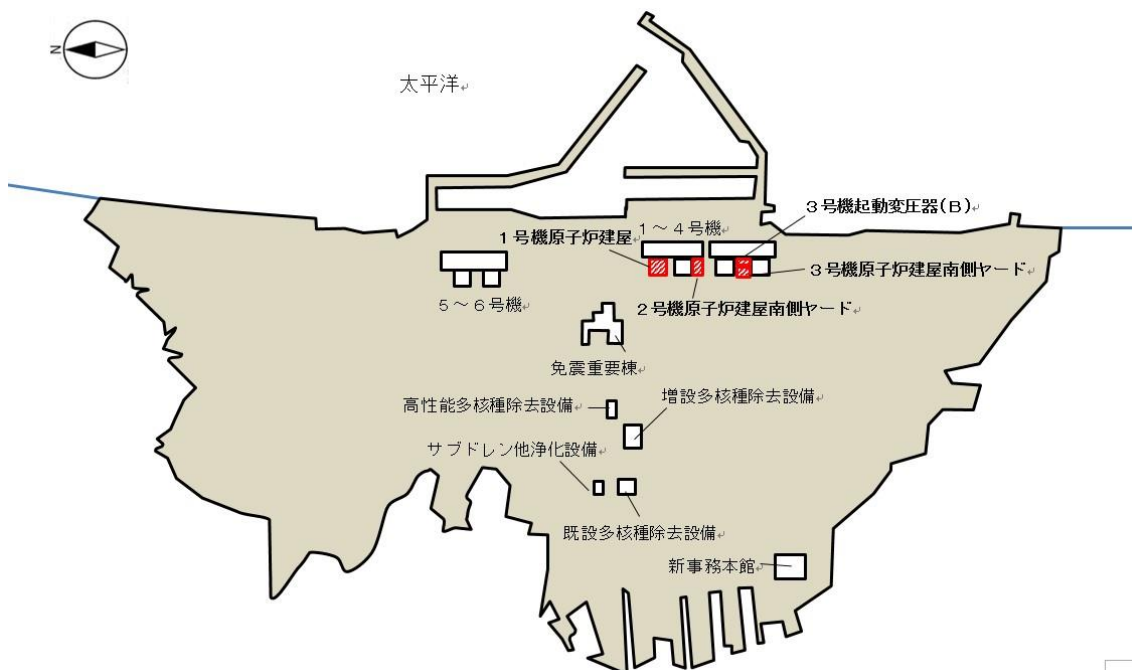
- ・構外ヤードで地組された前室鉄骨の建方作業が進められていた。（写真2）

(3) サブドレンピットNo.40における油分検出の対応状況

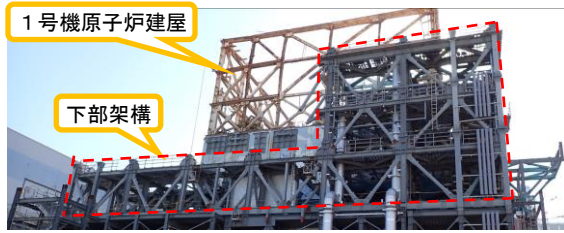
令和4年4月21日に発生した3号機起動変圧器(B)からの低濃度PCBを含む絶縁油の漏えい後、サブドレンピットNo.40において低濃度PCBを含む油分が検出されたことを受け、同日以降、No.40及び近傍のNo.210、No.211のサブドレンピットの運転を停止した。

東京電力では、この停止による建屋への地下水流入量の増加を抑制するため、絶縁油拡散抑制対策として鋼矢板設置(令和5年6月26日完了)及び薬液注入(令和5年9月20日完了)を行い、令和5年10月2日よりNo.210及びNo.211の運転を再開したことから、3号機原子炉建屋南側ヤードのPCB含有絶縁油拡散抑制対策の実施状況及びサブドレンの稼働状況について確認を行った。(前回確認：[令和5年7月26日](#)) (図1)

- ・鋼矢板設置及び薬液注入が完了していたが、鋼矢板設置及び薬液注入箇所への埋め戻しが未完了の箇所があった。(写真3-1)
- ・運転が再開されたサブドレンピットNo.210、No.211について、確認時において外観上の異常は確認されなかった。(写真3-2、3-3)



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
1号機原子炉建屋周辺の状況①
(北側から撮影)



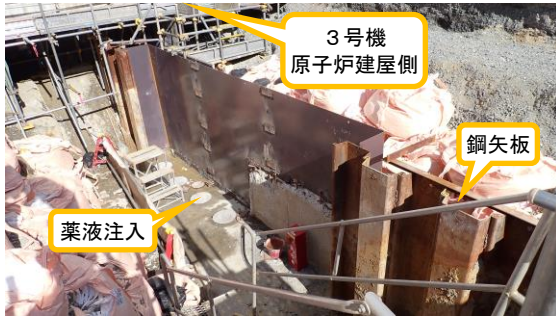
(写真1-2)
1号機原子炉建屋周辺の状況②
(西側から撮影)



(写真1-3)
1号機原子炉建屋北側ヤードの状況
(西側から撮影)



(写真2)
2号機原子炉建屋南側ヤードの状況
(西側から撮影)



(写真3-1)
鋼矢板設置及び薬液注入の状況
(南西側から撮影)



(写真3-2)
サブドレンピットNo.210の状況
(北西側から撮影)



(写真3-3)
サブドレンピットNo.211の状況
(北側から撮影)

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。